

構想の拠点施設

とろざわ サクラタウン にできるもの



今までになかった新しいミュージアム
角川武蔵野ミュージアム



あらゆる文化施設の枠を超えたミュージアムが誕生します！図書館・美術館・博物館、アニメミュージアムが融合した、今までにない文化複合施設です。角川文化振興財団が運営し、メインカルチャーからサブカルチ

ャーまで、さまざまな文化の発信拠点となるこの施設。外壁を岩盤で覆う巨大な岩のようなデザインは、新国立競技場を設計した建築家・隈 研吾さんによるもの。とろざわサクラタウンのランドマークとなります。

他に、地元食材を使い、できたて作り立ての特別なおいしさと感動、そして新しい食のエンタテイメント体験ができる「角川食堂」などのレストランエリアも。屋上部には、人気コンテンツのキャラクターや世界観とコラボした体験型のホテルを設計するなど、とろざわサクラタウンは無限の可能性を秘めています。



所沢にゆかりのある

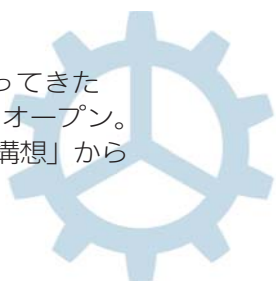
(株) KADOKAWA 社員に聞く！



(株) KADOKAWA
金子 将之さん

とろざわサクラタウンは、オフィスだけではなく、商業施設や文化複合施設、イベントスペースなどもあるポップカルチャーの発信拠点です。父の家が市内にあり、個人的にも所沢市に縁があるので、この一大プロジェクトに参加できて、とても光栄です。2020年のオープンにご期待ください！

工事が進み、建物の形が少しずつ分かってきたとろざわサクラタウンは、来年7月にオープン。今も進行中の「COOL JAPAN FOREST 構想」から目が離せません！



大規模なイベントスペース
ジャパンパビリオン・千人テラス



ジャパンパビリオン

大型eスポーツ大会や2.5次元舞台、音楽ライブ、シアターと、多目的に活用できる2つのホー

ルを完備。大ホールは1,800人、小ホールは200人まで収容できます。臨場感溢れるステージを体感しよう！



千人テラス

とろざわサクラタウンの中央にあり、1,000人を超える収容が可能な野外オープンスペース。

さまざまな発表会や地域密着型イベント、パブリックビューイングなど使い方は無限大！！



周辺工事も進行中！



▲ (仮称) 所沢市観光情報・物産館

地域の皆さんの協力のもと、交通渋滞を解消するための道路の拡幅や、歩行者の安全を確保するための歩道整備などが進行中。また、東川を挟んでとろざわサクラタウンの反対側にある旧コンポストセンター跡地では、「(仮称) 所沢市観光情報・物産

館」を整備します。所沢のおいしい食を楽しめたり、狭山丘陵や観光農園などの観光スポットが分かったりと、所沢の魅力が詰まった施設です。とろざわサクラタウンと橋でつながるので、アクセスも簡単！